# 日本債券

* 上記で記載の通り，日本金利のシナリオは経済環境の悪化（好転）に伴い，金利が低下（上昇）する．この金利の変動により，日本債券収益率は金利の低下が続くうちは正であるが，その後は金利の上昇に伴って負となり，上記のようなシナリオになる．

# 株式

* ドル円為替四半期収益率の変動については為替の平均回帰性によるものである．ドル円為替事態の変動は以下の通りであるが，日米の金利差拡大とともに低下傾向にあるものの，平均へ回帰する傾向があるため初期時点の為替の平均値（約105.4）へ向けて変動する時点も見受けられる．この二つの変動要因が拮抗することでこのような為替の変動を生み出していると考えられる．
* 名目GDP年変化率は潜在GDPの１年間の変化率を表す．9カ月後（0.75年）の値が10％程度と高い値になっているが，これは2020年6月の実質GＤＰが大幅に減少したためである．
  + - 潜在GDPが昨年の６月末に大幅に下落したため，その一年後にあたる部分で大きな変化率となっている
    - 潜在GDPは実質GDPに(1+GDPギャップ)をかけて得られるが，実質GDPの増加が大きいためGDPギャップが負でも潜在GDPは低下せずに微増している．
    - 実質GDPは受領した潜在GDPの成長率で成長する
* ドル円為替四半期収益率の変動要因がわからないと無理かも

# 米国金利

* 日本金利と同様に，経済環境悪化に伴う利下げと，景気回復に伴う利上げのシナリオであると解釈することができる．

# 外債

* ドル建て債券や円建て債券・ヘッジコストのシナリオを算出して分析